

各種商品卸売業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	23～ 24	業務終了後、両手で荷物を持ちながら帰宅するために、事務所から駐車場まで歩行していた際、通路の凍結により転倒し左ひざ下の部位を負傷した。	35	417	2	10 ～ 29
2017	1	10～ 11	駐車場の通路で、朝礼終了後、研修場所の別建物へ徒歩で移動する際、圧雪・凍結しているところで革靴のまま小走りしてしまい、足を滑らせ、体が宙に浮き落下した際、背中から足までを同時に強打ち、左足くるぶし付近を骨折した。	37	417	2	100 ～ 299
2017	1	13～ 14	会社敷地内の倉庫から事務所へ商品を運搬している際、使っていた台車の持ち手のロックが何かの拍子に解除されてしまったようで、前のめりに転倒してしまい、肩を負傷した。	44	362	2	1～ 9
2017	1	11～ 12	ドラム缶を納品する時、地面が凸凹でバランスをくずし、ドラム缶を変な体勢で支え、腰を負傷した。	39	611	19	1～ 9
2017	1	8～9	駐車場で、上から吊り下っている直径約30センチの時計型計量器の下までフォークリフトを移動させて、飼料を計量していたところ、計量器が鉄枠から外れて左足の上に落下し、第3指を負傷した。	53	391	4	1～ 9
2017	2	9～10	閉店前の準備中、資材等を売場に運ぶため厨房の扉を開けて売場に出ようとしたところ、扉の下枠（高さ4～5cm。厨房の水気が売場に流れるのを防いでいる。）に足が引っ掛かり、階段を踏み外して左足を捻った状態で床に着地したものである。	43	413	2	10 ～ 29

2017	3	17~18	倉庫へ荷物をとりに行く際に、事務所裏の公園内にある石畳の段差につまずき、左足首をひねり負傷した。	60	417	2	30 ~ 49
2017	3	15~16	営業車を運転して営業先から営業所に帰る途中、居眠りをしてしまい、緩やかな右カーブを曲がり切れず道路沿いの民家に衝突して右膝の皿を割る怪我を負った。	48	231	17	1~ 9
2017	3	11~12	加工場内において、真鯛の三枚卸し加工中、鯛の骨が指に刺さり負傷した。	55	529	8	50 ~ 99
2017	4	16~ 17	製品を運ぼうとして屈んだとき、腰に痛みはしった。	31	611	19	10 ~ 29
2017	4	12~ 13	弊社トラック運転中、前方を走行中のショベルカーに追突した。トラック運転中の弊社社員が重傷を負い救急搬送され、ショベルカー運転者は無傷であった。	26	221	17	1~ 9
2017	5	10~ 11	本社2階事務所から階段を使って、1階屋外へコイン選別機（重さ約80kg、縦40cm×横40cm×高さ30cm）を2人で運び、軽自動車のトラックへ積み込む際に前屈みになって腰に負担が掛かり、痛みが生じた。	38	921	19	50 ~ 99
2017	6	9~ 10	当社作業場内で、注文のあったテーブル補修のため、テーブル式丸のこ盤で、木の面取り（角取り）をする作業で、両手で木を押す作業中に誤って手を滑らせ、左手中指を丸鋸の刃に接触させてしまい負傷した。	42	131	8	1~ 9
2017	7	9~10	作業者は、当日朝より、倉庫前のプラットフォームにパレットで積載されていた、入荷商品をリフト（リーチフォーク）で片付けていた。被災者は朝礼後別棟の事務所へ移動、その際、作業者が操縦するリフトの左脇を横切った。同刻作業者は、二段に積上っていた商品をラップで固定するため、荷降ろしと共に、リフトを後進させ	39	222	3	50 ~ 99

			た。その際路面の歪みにより、車体のバランスを崩し、荷崩れを起こした時、移動中の被災者の右後方より、商品が右肩に接触した。				
2017	7	16~17	店舗内で接客待機中、接客中の別の社員が、被災労働者の前を通ろうとしたため、道を空けようと一歩後ろに下がったときに、右足を挫き、バランスを崩した。右後ろによろけて、右後ろにあった本棚にぶつかり、倒れこみ、腰を打撲した。そのときは、それ程酷い痛みではなかったので、そのまま終業時刻まで勤務したが、帰宅後、次第に痛みが酷くなり、動くのに支障が出てきた。	41	417	2	1~ 9
2017	7	14~ 15	1階ケースエリアでピッキングフォークによる下段の格納作業中に商品を取ろうとしたところ、急な眩暈により転倒しそうになり左手をついたところ痛みが発生、左腕尺骨骨折した。	52	921	19	100 ~ 299
2017	7	11~ 12	足場組立作業中に、本人の気分が悪くなり、自力で足場上より降りたところ、容体が悪化しその場でうずくまり倒れこんだ。作業管理者は熱中症の恐れがあると判断し、応急処置を行ったが、看護師の判断により、救急車を要請し病院に搬送された。熱中症に起因すると思われる心筋梗塞だった。	78	371	1	300 ~ 499
2017	7	10~ 11	事務所入口にて、商品を取りに行こうとした際、木製の板の上で転倒した。その板は、半分には滑り止めがあり、通常は事務所の出入り用に使っているが、そのときは滑り止めがない半分の方を、滑り易い靴で歩いて転倒し、背中の上部を打った。	53	522	2	1~ 9
2017	7	11~ 12	会社内で荷物（鋼線）を出荷するため、軽トラックの荷台に鋼線束（1束約25kg）を積み込もうと持ち上げた際、腰に痛みを覚えた。	63	521	19	10 ~ 29
2017	7	12~ 13	青果物の入ったダンボール箱（約30cm×40cm×50cm、約10kg）を運ぶ作業中、運び終えた後に躓いて転び、かばって手をついた時に左手首を骨折した。	68	416	2	1~ 9
		11~	工場内のパイプ置場にて棚からパイプを取り出す際、棚が手前に倒				10

2017	9	12	れてきて、柵に入っていたパイプが右足になだれ込み、右足ふくらはぎに打撲を負った。	31	521	6	～ 29
2017	10	14～ 15	事務所から営業活動でお得意様へ車で向かう途中、交差点で信号待ちをしていたところ、2台後方の車の追突により、玉突きにて後方から追突された。	45	231	3	10 ～ 29
2017	10	15～ 16	トラックから荷物を下ろす時、荷物のひもが外れて、トラックから本人が落ちた。その時、左手首と腰を痛めた。	51	221	1	1～ 9
2017	10	16～ 17	工場内の清掃中、洗った道具を濯ぐため排水溝（幅50～55cm、深さ40～45cm）をまたぎ行こうとした。掃除中は排水溝のグレーチングを全部横に動かす。1ヶ所だけ2枚重なった所があり、片足を置いた時、1枚と2枚がずれて体のバランスを崩し上向きに倒れ、排水溝の縁で尻餅状態になり、お尻・腰・背中を打ち、そのまま排水溝に落ちた。	65	419	2	10 ～ 29
2017	11	10～ 11	就業場所事務所にてPOPの作成のため用紙をカッターを使用して切断していたところ、指の側面を誤って一緒に切っけてしまい負傷した。	47	379	8	10 ～ 29
2017	11	17～ 18	製品積み込み場にてトラックに商品を積み込み荷物を固定後に荷台から降りた時に、足元に荷物を固定するラッシングベルトがあり、誤ってベルトの上に降りた際に、足首を捻って負傷したものである。	35	529	19	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	当社倉庫内にて高所商品ラックより取り出し作業中、自走式昇降作業リフトを3m位の高さから足を踏み外しコンクリート床に落下、右顔面骨折の怪我を負った。	35	222	1	10 ～ 29
2017	11	13～ 14	事業所内厨房にて調理業務中、ザルを洗おうとシンクへ歩いて移動していたところ、床が濡れており、足を滑らせて尻もちをついた際に右手を床につき、右手首を骨折した。	56	417	2	10 ～ 29
			倉庫内で米袋を並べるための木製パレット（135cm×180cm×13cm、				

2017	11	17~18	約60kg)を立てて2人で両側を持っていた。ゴミ等を払うため片側を30cm程度持ち上げては落とす作業を交互に行っていたところ、誤って自分の足の上に落とし、右足親指を骨折した。	38	379	4	1~9
2017	12	7~8	タイムカード打刻後、仕事を開始しようと通路を歩いている時、通路に置いてある台車に気づかず転んでしまい、右手首を負傷した。	63	362	2	30~49
2017	12	19~20	レジでタバコを取りに行く際、保冷機に手をついたとき、上部のガラスが割れた。	21	523	7	50~99
2017	12	13~14	お昼休憩後、従業員用の階段の3階から2階に下りる際につまずき、踊り場まで落ち捻挫した。	66	413	1	100~299
2017	12	12~13	配達に行った際、地面が凍結していたため滑って転倒し、頭部を打撲した。さらに3日後、会社の前で荷物を積み込む際に、地面が雪のため滑って転倒し、再び頭部を打撲した。	84	719	2	10~29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html